

【3月のテーマ】 てがたんしりとり

案内人：小田谷嘉弥（鳥の博物館学芸員）
・伴野茂樹（鳥の博物館市民スタッフ）



アズマヒキガエルの
オタマジャクシ



白くてふわふわした
シロダモの葉っぱ



はりきってさえずっていた
ホオジロ

▲てがたんしりとりの一例。生きものの名前が入っていれば、それを形容する言葉を前や後に足してもオーケーです。

ふだんの自然観察会では、それぞれの回のテーマに沿って対象の生き物を観察しています。今回は、てがたんコースで見つけた生きものの名前やそれを修飾することばを使って「しりとり」をすることで、対象を絞らずにいろいろな生きものの発見を楽しんでみます。視野を広げて自然観察を楽しみましょう。

2022年3月12日（土）

車や自転車に注意しましょう。水田や私有地では、マナーを守って観察しましょう。

てがたんしりとりルール

実際に見つけた生きものの名前ですりとりを行います。その時までに見つけた生きものはオーケーですが、まだ見つからない生きものは使ってはだめです。生きものの名前以外の単語、たとえば「ぬま」や「かぜ」はなしにします。そのほか、普通のしりとりルールで禁止されていることはだいたいOKとします。たとえば、

- ・「ん」がついたらそのひとつ前の言葉を併せてしりとりする。たとえば、「てがたん」で終わったら、「たん」 から始まる言葉で続けてOK
- ・正式な種名ではなく、グループの名前や、地方名・別名でもOK
- ・生きものの名前の前に形容詞をつけてもOK
- ・濁点などはなしで考えてもOK 「ば」 → 「は」 など

しりとりを記録しよう

てがぬま→